

科目名	ソーシャルワーク実習指導（木村）						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	演習	学年	2年	開講時期	通年	単位数	2単位
担当教員	木村 淳也						

内容および計画	<p>ソーシャルワーク実習指導 は、ソーシャルワーク実習（社会福祉士国家試験受験資格を取得するために必要な社会福祉現場での実習であり、本学では23日間以上、かつ180時間以上の実習時間を設定しています）を行う場合に必要となる相談援助に係る知識と技術について、少人数のクラスにおいて現場実習前の学習、現場実習中の巡回指導等、現場実習後の学習を行う科目です。</p> <p>少人数クラスでの個別指導や集団指導をとおして、相談援助実践を行う上で必要な知識および技術について具体的かつ实际的に理解を深めるとともに、社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、課題把握能力等、総合的に対応出来る力をつけるために学習を行います。</p> <p>具体的な実習指導は、実習先施設・機関の種別ごとのクラスに別れ学習を進めていきます。取り扱う内容や進め方等は、各実習クラスで異なりますが、おおよそ計画に示すような内容に即して進めます。</p>
1	オリエンテーション ソーシャルワーク実習の意義等についての再確認
2	実習を行う分野で必要とされる相談援助に関する知識についての理解
3	実習を行う分野で必要とされる相談援助に関する知識についての理解
4	実習を行う分野で必要とされる相談援助に関する技術についての理解
5	実習を行う分野で必要とされる相談援助に関する技術についての理解
6	実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解
7	社会福祉実践における記録の意義
8	実習記録への記録内容と記録方法に関する理解
9	実習記録への記録内容と記録方法に関する理解
10	実習における実習計画書の目的
11	実習計画書の作成
12	実習計画書の作成
13	実習計画書の作成
14	実習計画書に関する実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者の協議
15	実習内容等に関する最終確認
16	実習巡回指導
17	実習巡回指導
18	実習巡回指導
19	実習巡回指導
20	実習巡回指導
21	実習記録や実習体験のふりかえりと課題の整理
22	実習記録や実習体験のふりかえりと課題の整理
23	実習記録や実習体験のふりかえりと課題の整理
24	実習記録や実習体験のふりかえりと課題の整理
25	実習報告書の作成
26	実習報告書の作成
27	実習報告書の作成
28	実習報告書の作成
29	実習報告会の実施
30	実習報告会のふりかえり

教科書	別途指示をします。
-----	-----------

参考書	
-----	--

成績評価	評価方法		割合
	出席状況・受講態度等		20 %
	グループ学習		40 %
	課題・レポート等		40 %

成績評価	<p>原則、全回の出席をもとめます。</p> <p>事前学習の段階での出席が不足している場合や学習の状況が充分でないと実習委員会で判断した場合は、現場実習への配属を中止します。</p> <p>事後学習の段階での出席が不足している場合や学習の状況が充分でないと実習委員会で判断した場合は、社会福祉実習指導 の単位修得はできません。</p>
学習到達目標	<p>相談援助実践を行う上で必要な知識および技術について具体的かつ実際に理解を深める。</p> <p>社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、課題把握能力等、総合的に対応出来る力をつける。</p>
先修条件	<p>ソーシャルワーク実習指導 、社会福祉学概論 ・ 、ソーシャルワーク ・ 、社会保障論 ・ 、児童家庭福祉、障がい者福祉論、高齢者福祉論</p>
その他	